



平成30年12月6日  
水管理・国土保全局  
水資源部水資源政策課

## 「“水のめぐみ”とふれあう水の里の旅コンテスト 2018」受賞企画決定！ ～最優秀賞受賞作品が絶景賞をダブル受賞～

全国から応募のあった水の里を観光資源とした「旅の企画」から、**最優秀賞をはじめとする9つの受賞企画**を決定しました。  
各受賞者への表彰式は12月18日に開催、傍聴受付は本日より開始します。

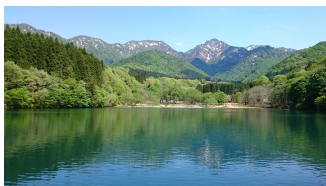
国土交通省では、水の里\*の観光資源を活用した旅の企画の表彰を通じて、水の里の大切さと魅力を伝え、地域の活性化を推進することを目的に、平成22年より「“水のめぐみ”とふれあう水の里の旅コンテスト」を実施しております。\*「水の里」とは、ダム周辺など、おおむね河川の上流部の区域に位置する“まち”や“むら”をいいます。

### 【受賞企画一覧】（詳細は別紙参照）

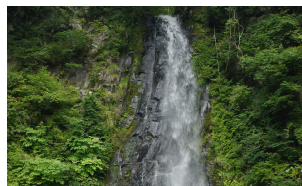
賞		受賞者	旅行地域
一般部門	最優秀賞	(一社)越後湯沢温泉観光協会 雪国観光舎 越後湯沢温泉	新潟県
	優秀賞	株式会社せとうち観光社	愛媛県
	奨励賞	Tabayama Base	山梨県
学生部門	最優秀賞	比治山大学 観光振興ゼミ2年	鳥取県
	優秀賞	関西学院大学 都市研究会	大阪府
	奨励賞	林 美紗 (和歌山大学)	和歌山県
特別賞「絶景賞」		(一社)越後湯沢温泉観光協会 雪国観光舎 越後湯沢温泉	新潟県
		比治山大学 観光振興ゼミ2年	鳥取県
特別賞「観光庁観光資源課長賞」		ひろうら田舎暮らし体験推進協議会×茨城町	茨城県

※受賞企画の内容はHP (<http://mizunosato-ouen.jp/tabi/awarded/>) に掲載します。

### < ツアーで巡るスポット (一例) >



大源太湖(新潟県 南魚沼郡湯沢町)  
一般部門最優秀賞/絶景賞  
(一社)越後湯沢温泉観光協会



雨滝 (鳥取県 鳥取市国府町)  
学生部門最優秀賞/絶景賞  
比治山大学観光振興ゼミ2年



潤沼 (茨城県 東茨城郡茨城町)  
観光庁観光資源課長賞  
ひろうら田舎暮らし体験推進協議会×茨城町

### 【表彰式の概要】

日時：平成30年12月18日(火) 13:00~15:00

会場：中央合同庁舎3号館4階 国土交通省特別会議室

その他：表彰式は公開です。当日は受賞者による企画のプレゼンテーションが行われます。

※報道関係の方は直接会場までお越しください。

※一般傍聴をご希望の方は、12月14日(金)17:00までに、電子メールにてお申し込みください。

<申込方法>

- ・件名を「水の里の旅コンテスト 2018 傍聴希望」とし、本文に「氏名(ふりがな)、電話番号、所属団体名、電子メールアドレス」をご記載の上、下記連絡先までお送りください。

電子メールの送付先：g\_LAW\_SSG\_SCH@mlit.go.jp

### 【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課 水源地域振興室 塩田、中田

代表：03-5253-8111 (内線 31323、31325) 直通：03-5253-8392 FAX：03-5253-1581

## 【水の里の旅コンテスト 2018 受賞企画】

### 一般部門 最優秀賞 / 特別賞「絶景賞」

W受賞!

(一社)越後湯沢温泉観光協会 雪国観光舎 越後湯沢温泉

<新潟県 南魚沼郡湯沢町、南魚沼市、十日町市、中魚沼郡津南町>

『 ころもプレミアム 雪国の宝物 雪がもたらす恵みの水を訪ねて

今しか見れない特別観覧インフラと桜・里山料理と美酒のマリアージュ 』

古の知恵と文化、水と大地が作り出す豊穡の恵みに満ちた雪国観光圏の一部、雪国の恵みと喜びが一番感じられる早春を六感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚・心で感じる）で体験する3日間です。



<儀名の棚田桜>

(講評)

- ・現代インフラの特別見学を通じて水資源の重要性を理解するとともに、地域の豊かな自然とそこから生み出される食を味わうことで水の恩恵を体感でき、雪国の魅力を満喫できる、まさにプレミアムな内容となっている。地域との関係が築けているからこそできる企画。
- ・比較的高価な旅行代金ではあるが、それでもなお参加してみたいと思わせる価値に見合った設定であり、本気度を感じられる。
- ・水の張った春の棚田の風景や竜ヶ窪、雪の積もった風景が非常に美しく、さらにそれらがすべて水とつながっている点が素晴らしい。通常の水だけでなく、「雪」を水として捉えられている点も面白い。

### 学生部門 最優秀賞 / 特別賞「絶景賞」

W受賞!

比治山大学 観光振興ゼミ 2年 <鳥取県 鳥取市国府町、岩美郡岩美町>

『 扇ノ山を源とする殿ダムと浦富海岸、「旬」体感ツアー

～人と水とが創造する、遊・食・景 その見聞はきっと永遠（とわ）になる！～ 』

水源を同一にする2つの川の上流域と下流域を巡りながら、水の脅威と恵みを体感し、人が水とどのように共生しているか、改めて考える機会を提供します。



<浦富海岸>

(講評)

- ・「水の里の旅」のコンセプトを十分に理解し、地域資源や現地情報を丁寧に調査した上で作り込まれており、完成度が高い。「水」の恵みと脅威の二面性を伝えることで水との関わり方を再考させられるとともに、地域の多様な魅力を最大限に味わうことのできる企画となっている。
- ・地域の関係者を巻き込んだ仕組みづくりも良く、ダムの歴史的背景や現在の役割への着眼はインフラツーリズムにもつながり、今後期待される。
- ・山の源流から海の下流まで網羅できており、なおかつ食やアクティビティとしても水の豊かさを体験できる点が良い。見て回るだけでなく自らの体験として記憶に残る旅行となりそうである。

## 一般部門 優秀賞

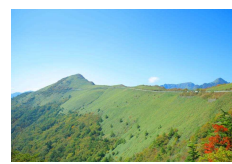
### 株式会社せとうち観光社 <愛媛県 西条市、今治市>

『 四国の源流 石鎚山脈から瀬戸内海へ。命の水を巡る旅。山は海の恋人、海は山の恋人。 』

「水の循環、水と人との繋がり」をテーマに、石鎚山脈の瓶ヶ森から西条市内、しまなみ海道を巡る、山の恵みと海の魅力を一度に体験出来るツアーです。

(講評)

- ・山と海が近い地形が生み出す魅力的な観光資源をうまく組み合わせ、水の循環をテーマとした長編ドラマのような奥深い旅となっている。
- ・ガイドが全行程同行することで、地域の多様な自然環境や水資源を活用する文化等、多角的に水を考えることのできる機会となると期待できる。
- ・地域を知り尽くした地元の旅行会社がこうした企画を行うことが地域活性化につながるだろう。



<瓶ヶ森林道>

## 学生部門 優秀賞

### 関西学院大学 都市研究会 <大阪府 河内長野市>

『 水の恩恵を感じる風光明媚なフォトジェニック旅 ~カメラ片手に河内長野へGO!~ 』

河内長野の水が育む豊かな自然と産業を五感で体感できる、「写真映え」するスポットを訪れます。

(講評)

- ・インスタグラム世代をターゲットにしたテーマは時代に即しており、参加者の情報拡散効果により二次的な地域のPRを狙う点が面白い。
- ・水が育む豊かな自然や、歴史の中で育てられた地域独自の産業を体感できる内容は興味深く、公共交通機関の企画乗車券やボランティアガイドの活用で旅行代金を安価に抑え、気軽な参加を促進している点も良い。



<酒蔵通り>

## 一般部門 奨励賞

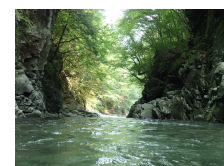
### Tabayama Base <山梨県 北都留郡丹波山村>

『 多摩川の源流体感キャンプ in 丹波山村 』

豊かな木々に守られた源流の川の美しさを体感し、森林が川を守るメカニズムや水の大切さを学ぶことの出来るプログラムです。

(講評)

- ・自然を活かしたアクティビティを通じて、非日常体験を楽しみながら水源涵養の意味や水の大切さを体感できる内容となっており、ガイドが同行・説明することで、理解度を高められるとともに安全性も担保されている。子どもだけでなく、幅広い年齢層や外国人観光客にも関心の高いコンテンツだろう。
- ・自ら収穫した野菜、鹿肉など地元食材を使った、野性味ある食事も旅の良い思い出になることだろう。



<丹波川>

## 学生部門 奨励賞

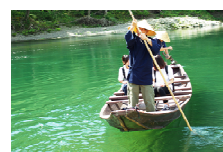
### 林 美紗 (和歌山大学) <和歌山県 田辺市>

『 水の森「百間山溪谷」と古の道「熊野古道」 自然 × 歴史 シンクロナイズド・ウォーキング 』

渡し船やトレッキング、備長炭づくりを体験しながら白浜から熊野古道を訪れる、首都圏の女性へ向けたツアーです。

(講評)

- ・地域の資源がよく調べられており、古来より水と関わりの深い地域における自然や文化、歴史を体感できるとともに、首都圏の女性を明確なターゲットとし、癒しを求める女性層に好まれる内容となっている。
- ・訪問先に関するガイドができるようタクシードライバーを育成したり、現地ガイドに水と暮らしの関わりを話してもらったりするなど、さらに理解が深まるような工夫ができれば、より印象に残る旅になるだろう。



<安居の渡し>

## 特別賞「観光庁観光資源課長賞」

### ひろうら田舎暮らし体験推進協議会×茨城町 <茨城県 東茨城郡茨城町>

『 茨城町ふれあい民泊体験 豊かな自然に恵まれた魅力いっぱいのまち 』

涸沼の恵みや伝統文化を活かした多彩なプログラムを通じて地域とふれあい、自然の豊かさを体感できるプログラムです。

(講評)

- ・地元の方と共に地元ならではの体験・味わい・ふれあいをすることは人生を豊かにする上で大変魅力的な経験になり、それらを幅広い年齢層の方が楽しめる内容となっている。
- ・海外の学生との交流の際は、お互いにとって良い思い出となるような、より多くの外国人観光客が「また行きたい」と思えるような地域づくりを目指して欲しい。



<涸沼>

## 【参考】「水の里の旅コンテスト 2018」審査委員

- ◎ 安藤 周治 特定非営利活動法人ひろしまね理事長
- 大澤 健 国立大学法人和歌山大学経済学部教授
- 詩歩 株式会社 Casket 代表取締役  
「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー
- 祖一 宏平 一般社団法人全国旅行業協会経営調査部課長
- 日野 俊英 株式会社全旅常務執行役員
- 丸山 裕司 公益社団法人日本観光振興協会事業推進本部 地域ブランド創造部長
- 英 浩道 観光庁観光地域振興部観光資源課長
- 後藤 隆昭 国土交通省水管理・国土保全局水資源部水資源政策課水源地域振興室長

◎：委員長